

科目名 地域のくらしを支える看護Ⅱ 時間割表記名 地域のくらしを支える看護Ⅱ	配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 30 時間(16 回)	講義担当者 隈部 直子 高木 雅弘 石井 香織 (実務経験のある教員)	
事前学習内容			
<b>授業目標</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域包括ケアシステムの意義と概念について理解する。</li> <li>2. 「自助」について、健康の保持増進を支援する看護に必要な技術を学ぶ。</li> <li>3. 「互助」について、現状の互助組織を理解する。</li> <li>4. 「共助」について、地域で生活する人々を支える仕組みを理解し、多職種と協働することについて理解する。</li> <li>5. 「公助」について、地域で生活する人々を支える制度や種類を理解する。</li> <li>6. 多様な場における看護の実際を理解する。</li> </ol>			
<b>DPとの関連</b> <p>DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。</p> <p>DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。</p> <p>DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。</p> <p>DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。</p> <p>DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。</p>			
<b>授業の流れ</b>			
回	学習内容	方法	備考
1	1. 地域包括ケアシステム	講義	テキスト①
2	1) 地域包括ケアシステムとは 2) 地域包括ケアシステムの構成要素		第 2 章 C1
	2. 地域・在宅看護実践の場と連携 1) 地域・在宅における多職種連携 2) ケアマネジメントと社会資源の活用		テキスト① 第 5 章 C テキスト② 第 5 章 ABC
	3. 地域・在宅看護マネジメント 1) 地域・在宅マネジメントとは 2) 多様な場における地域・在宅看護 3) 介護保険制度上の地域・在宅看護マネジメント		テキスト② 第 6 章 AB(③)

3	3. 地域・在宅看護に関わる制度とその活用	講義	テキスト① 第6章 ADEFGH
4	1)介護保険・医療保険制度 2)地域保健に関わる法制度 3)高齢者に関する法制度 4)障害者・難病に関する法制度 5)公費負担医療に関する法制度		
5	4. 地域包括ケアシステムと「自助・互助・共助・公助」	講義	テキスト① 第2章 C2
6	1)自助・互助・共助・公助の意義と役割 (1)健康の保持増進のための自助 (2)現状の互助組織 (3)地域で生活する人を支える仕組み (4)地域で生活する人々を支える制度		
7	5. 病院と在宅との連携 1)病院で行う地域・在宅看護マネジメント 2)外来における地域・在宅看護マネジメント	講義	テキスト① 第5章 B(⑥) テキスト② 第6章 B(①②)
8	6. 透析治療を受ける人の暮らし	講義	テキスト③
9	1)透析療法の必要性の理解 2)生活への影響(ライフスタイル・社会背景) 2)透析を継続するための自己管理 3)利用できる社会保障・福祉制度		
10	7. 多様な場における看護の実際 1)暮らしを支える看護とは (1)暮らしの環境を整える看護 (2)地域における家族を支える看護 (3)地域におけるライフステージに応じた看護 (4)地域での暮らしにおけるリスク (5)地域での暮らしにおける災害対策	講義 個人ワーク	テキスト①
11	7. 多様な場における看護の実際	グループワーク	資料
12	1)さまざまな地域看護活動の展開	さまざまな地域で生	
13	(1)パーキンソン病をもちながら生活している人々が安心して生活するためのしくみの理解 (2)地域に暮らす認知症高齢者の暮らしと人々が支え合って生きるということの理解 (3)難病で療養生活を送る人の暮らしと人々が支え合って生きるということの理解 (4)地域に暮らす統合失調症の人の暮らしと人々が支え合って生きるということの理解	活している生活者の事例を通して、A氏の現在の症状や生活上の支援(困りごと)は何か考え、今後の生活について、どのような支援が必要か、関わっている	

	(5)化学療法をうけながら暮らす人々の理解	機関・関係者の立場から考える。	
14 15	7. 多様な場における看護の実際	全体発表	資料 * 15 回目は 45 分
16	筆記試験(45 分)		
受講上の注意			評価方法 筆記試験 発表資料 レポート 出席状況
<p>使用するテキスト</p> <p>① 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[1] 地域・在宅看護の基盤 .医学書院</p> <p>② 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論[2] 地域・在宅看護の実際 医学書院</p> <p>③ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8] 腎・泌尿器 医学書院</p> <p>参考文献</p> <p>① 看護判断のための気づきとアセスメント 地域・在宅看護 中央法規</p> <p>② 家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第 5 版 日本看護協会出版会</p> <p>③ 看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術 メヂカルフレンド社</p>			